

溪流環境情報の一元管理を目的とした 『溪流環境情報資料』作成のご提案

目的

- ・ 砂防事業が実施される地域は、自然資源に恵まれているため、土砂災害対策とともに平常時の活用にも配慮した、溪流環境と調和した砂防事業の推進が求められています。
- ・ 溪流環境に関する情報は、水と緑の溪流づくり調査(H4開始)により経年的に把握されていますが、成果は報告書となるため、実務に活用しやすいものとはなっていません。
- ・ 上記の様な背景から、弊社は、既存の水と緑の溪流づくり調査や溪流環境整備計画等を活用して、『溪流環境情報の一元的な管理体系の確立』を目的とした『溪流環境情報資料』の作成をご提案します。

内容

- ・ 『溪流環境情報資料』は、実務への活用のしやすさを第一としています。また、河川管理区間の環境情報とあわせ、水系一貫の環境情報としての活用も考慮しています。
- ・ 溪流環境情報の再構築は「河川水辺総括資料」も参考に、下記項目のとおり実施します。

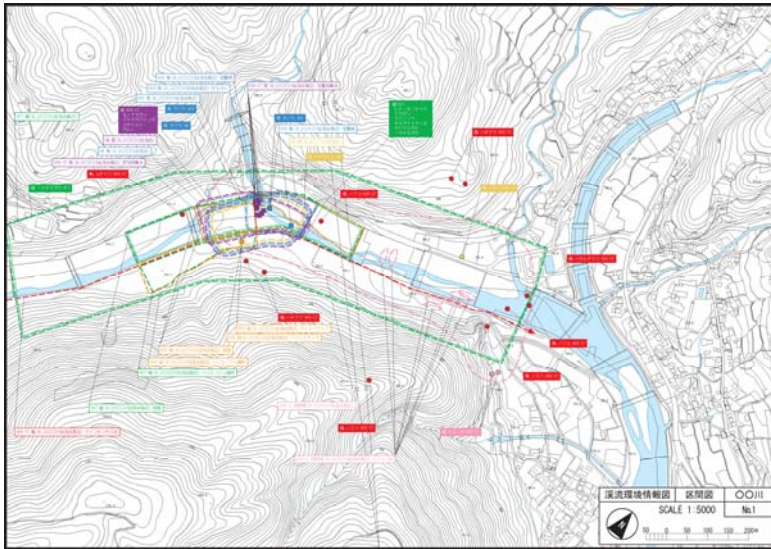
溪流環境データベース	<ul style="list-style-type: none">・ 過去調査の情報を、電子情報化します・ 最新の知見により、重要種や外来種について確認します また、分布妥当性についても確認します
溪流環境情報図 (次頁に作成例有)	<ul style="list-style-type: none">・ 過去の調査実施情報を、砂防GISデータを参考に整理します・ 情報は、全体図(管内レベル)、広域図(流域レベル)、区間図(1/5,000程度)の図面として整理します
溪流縦断模式図 (次頁に作成例有)	<ul style="list-style-type: none">・ 現地調査から、溪流の物理環境と自然環境の特性を把握し、溪流環境整備計画から、ゾーン区分や整備方針を確認します・ 結果は、事業対象溪流毎に溪流縦断模式図に整理します
溪流環境分析資料	<ul style="list-style-type: none">・ 溪流環境データベースを基礎資料に、生物分布情報、重要種や外来種の生態情報を整理します・ 溪流縦断模式図を基礎資料に、溪流環境特性区分を検討します

(お問合せ先)

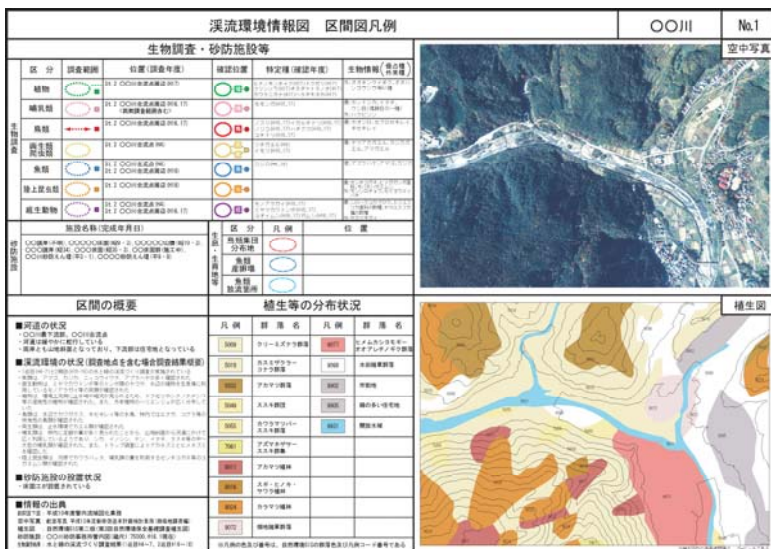
株式会社建設環境研究所 本社営業部[担当:若松、向井、山本]
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-23-2 TEL 03-3988-2643 FAX 03-3988-2158

『溪流環境情報資料』の作成例

情報図

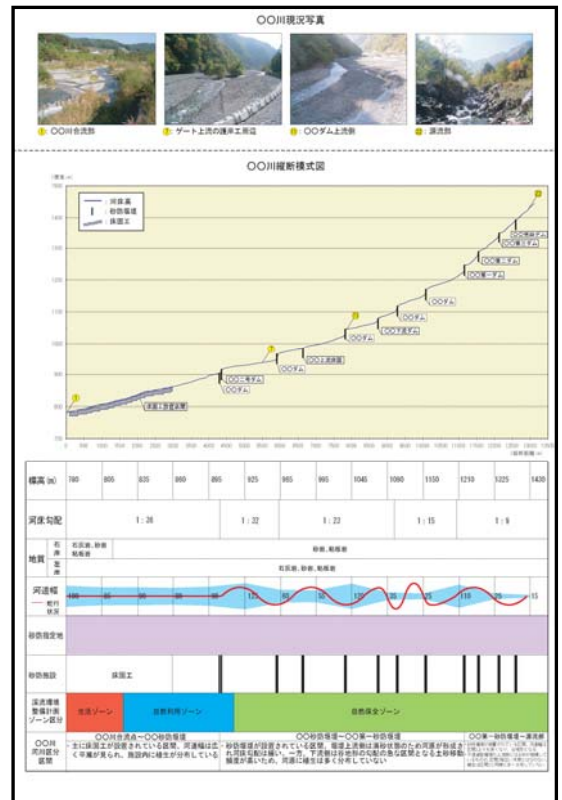


情報図(調査位置, 確認位置)



情報図凡例(調査実施情報, 空中写真, 植生分布)

縦断面図



(同種業務受注実績)

- ・ 溪流環境カルテ検討業務委託 (H13) 国土交通省 四国山地砂防事務所
- ・ 水と緑の溪流づくり調査計画及び溪流環境情報整理検討業務 (H18) 国土交通省 富士川砂防事務所
- ・ 水と緑の溪流づくり調査計画検討業務 (H19) 国土交通省 松本砂防事務所

『溪流環境情報資料』の活用と展開

- ・ 担当者は数年で異動となるため、今回提案する溪流環境情報資料による環境情報の一元化により、過去の経緯や今後の対応事項等、確実な引き継ぎによる手戻りの無い対応が可能です。
- ・ 調査実施状況と調査結果の再確認から、今後の水と緑の溪流づくり調査について、調査体系や調査項目の適正化の検討が可能となります。
- ・ 一元化された情報は、① 今後の砂防施設の工事实施段階への活用、② 策定から概ね10年が経過している「溪流環境整備計画」の改定を検討する際の基礎情報となることが想定されます。